



梅田だより

令和4年10月31日号

サポーターとともに

校長 折本 昭一

10月15日、好天に恵まれて運動会を実施することができました。運動会のねらいは

- 体育学習を通して身に付けた「運動に親しむ資質・能力」の発表の場とすること
- 自らめあてをもって取り組み、集団行動の仕方や協力する態度を身に付けること
- 家庭及び地域の学校に対する理解を深め、連携を深める機会とすること

の三つとしました。

かけっこ・徒競走や低・中・高学年別リレーでは、体育学習で身に付けた走り方やバトンの渡し方を生かして、自分の力を精一杯発揮する姿が見られました。

表現では、教員から振付を教わるだけでなく、自分で工夫したり、友達と伝え合ったりしてよりよい動きになるよう取り組んだ成果を発揮していました。

団体種目では、体育で学習したことのない種目に協力して勝利を目指していました。

そして、当日は大勢の保護者・学校評議員会の方々に、子供たちの頑張りや本校の特色である管楽器クラブの演奏をご覧いただくことができ、今年度の運動会は十分にねらいを達成できたと考えています。

運動会は、明治時代に海軍兵学校で行われた「競闘遊戯会」がルーツと言われています。その後、体力を高め、生活に潤いをもたらす楽しいイベントとして日本中に広まり、学校はもとより、会社や地域でも行われるようになりました。梅田小学校でも地域の子供会の運動会が行われています。「UNDOKAI」は日本の伝統文化の一つであるとして、様々な国に広める活動も行われているようです。

子供たちにとって、学校行事は学校生活に潤いをもたらし、自分で考え、友達と協力する力を高めるとともに、梅田小学校への愛着を深めるものです。そして、葛飾教育の日の授業とともに、保護者・地域の方々にその様子を見ていただき、子供たちの成長を伝える場として、大切にしていきます。

運動会終了後には、大勢の方から子供たちの頑張りを称賛し、学校の取組を肯定的に認めていただく感想をいただきました。力強いサポーターのおかげで、子供たちも教職員も努力が報われ、次の教育活動への意欲が高まりました。今後も、子供たちの取組を認め、温かい言葉を掛けていただくとともに、ご参観いただき感じたことを学校にお寄せいただければ幸いです。